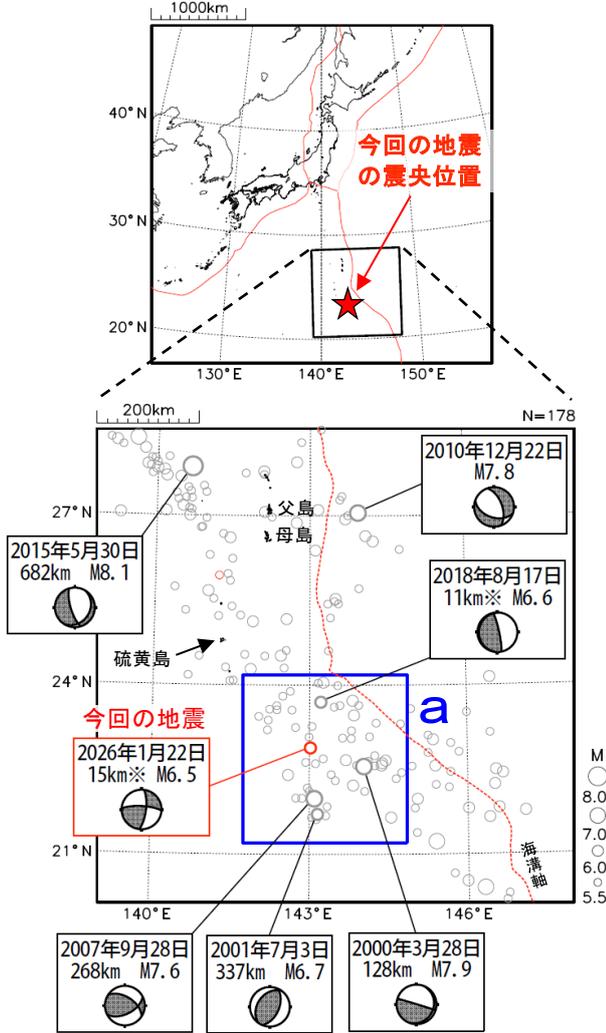


1月22日 硫黄島近海の地震

震央分布図
 (2000年1月1日～2026年1月31日、
 深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)
 2026年1月の地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解
 深さに「※」を付したものは、CMT解による



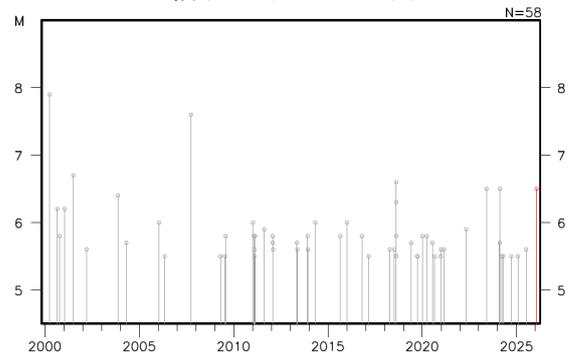
2026年1月22日01時37分に硫黄島近海の深さ15km (CMT解による) でM6.5の地震(震度1以上を観測した地点はなし)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

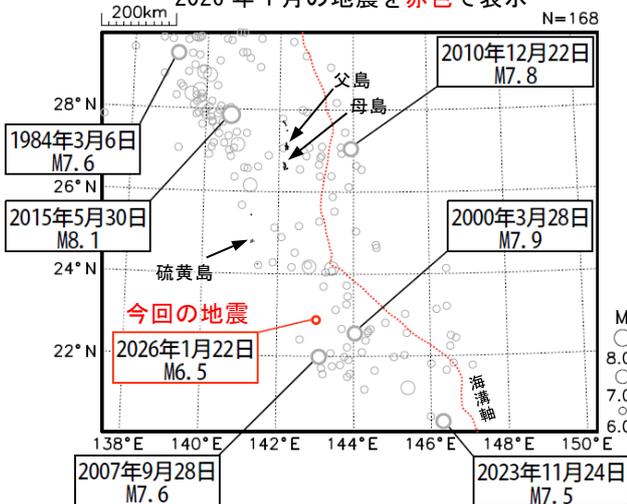
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海でM7.8の地震(最大震度4)が発生し、八丈島八重根で0.5m(注)の津波など、岩手県及び関東地方南部から沖縄地方にかけて津波を観測した。また、2015年5月30日には小笠原諸島西方沖の深さ682kmでM8.1の地震(最大震度5強)が発生し、関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

(注) 巨大津波計の観測点により観測されたことを示す(観測単位は0.1m)。

領域a内のM-T図



震央分布図
 (1919年1月1日～2026年1月31日、
 深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
 2026年1月の地震を赤色で表示



左図の領域内のM-T図

